

神戸まちづくり研究所の 復興まちづくり支援

～住民主体のまちづくりのために～

復興のネクストステージには、より決め細やかな地域ニーズの反映が必要となります。

大震災からの復興の地元化を目指す、住民・支援者の方々のために、ともに考え、学びあえる場づくりをご支援します。

メニューその1

地域への直接支援

地域の皆さんが解決しなければならない具体的な事例について、阪神淡路大震災の復興を経験した専門家がご支援します。

メニューその2

キャラバン隊の派遣

研修、講演などに講師を派遣します。一方的な伝達ではなく、地域の課題や活動を共有し、学びあうプログラムを提供します。

メニューその3

大人の修学旅行

地域で活動する住民、支援者に神戸に来ていただき、阪神淡路大震災の際に活動した住民、支援者、行政と交流し、学びあいます。

地域への直接支援

- 個別地域での具体的な相談にのります

流れ

- (1) ヒアリングによる課題の整理
- (2) 今後の流れ(プロセスデザイン)の提示
必要に応じて
- (3) 住民ヒアリングや合意形成の支援
- (4) 行政との調整
- (5) まちづくり協議会への運営アドバイス



- これまでの実績(専門家派遣制度などで)
気仙沼市…只越地区 鹿折地区 鯖立地区など
石巻市……雄勝町立浜地区
山元町、南三陸町柘沢地区



キャラバン隊(講師・ファシリテーター)の派遣

- 阪神・淡路大震災の復興においてさまざまな分野でかかわった人々を講師として派遣します。(下記は神戸まちづくり研究所の会員です。母体の神戸復興塾や協力団体から、テーマにあった講師を派遣します。)

研究者 小森星児、室崎益輝、山地久美子、菅磨志保、三谷真、森栗茂一
専門家(都市・建築) 小林郁雄、大津俊雄、野崎隆一、辻信一、松原永季、
浅見雅之、萩原正五郎、山室良徳
NPO/NGO 田村太郎、黒田裕子、島田誠、松下哲雄、川中大輔、村尾佳美
ジャーナリスト 山ロー史、相川康子、磯辺康子、奥池蓮一
(元)行政職員 垂水英司、明石照久、藤井英映
その他 上田耕蔵(医師)



- ファシリテーターを派遣し、支援者や住民の語り合い・学びあいの場をつくります
これまでの実績
 - ・市民からの提言とりまとめワークショップ(石巻市 全2回)
 - ・復興まちづくりを知り、語ろう(石巻市 全2回)
 - ・復興まちづくり勉強会 in 気仙沼(全4回 住宅再建/意見取りまとめ/新たな住まい方/中間支援)
- 3.11 支援集会 in 神戸(2011.3月より毎月11日に開催)

大人の修学旅行(神戸視察)

□ 目的

復興の多様な側面・テーマで活動する住民、支援者の方々のために、阪神・淡路で同じ経験をした多様な主体（活動家、行政、専門家など）との意見交換や現場見学を神戸で行い、今後の方向性を健闘する機会を提供します。また、参加者同士のネットワーク構築にも貢献します。

□ プログラム（2泊3日案）

- 1日目(午後) 復興についての系統的理解
レクチャー（阪神淡路の復興プロセスと東日本の復興プロセス）と意見交換
- 2日目(午前) 視察1※
- 2日目(午後) 視察2※
- 3日目(午前) ふりかえり

※ 具体的な内容（例）

EX1：住民主体のまちづくり まちづくり支援

- ・事業の理解（再開発／区画整理／集団移転・漁業集落等）
- ・住民主体のまちづくりを進める体制（神戸の場合）
- ・住民、行政、専門家（コンサル）・日常的な支援者の役割
- ・各地域の住民主体の復興まちづくりのプロセス紹介
（白地地域含む）
- ・このままだったら自分の地域はどうなるの？ 意見交換、

総括会議

EX2：住まい再建

- ・これまでどのような間取りで、どんな住まい方だったか？
- ・これからどんな住まい方をしたいのか？
- ・住まい再建の工夫～神戸の事例を見学、運営方法を聞く
- ・意見交換、総括会議

EX3：復興公営住宅のコミュニティ形成

- ・阪神淡路のコミュニティ形成支援活動、プロセス事例紹介
- ・当時の行政、社会福祉協議会担当者との意見交換
- ・意見交換、総括会議



■□ お気軽にご相談ください！ □■

プログラム、費用など具体的には、神戸まちづくり研究所事務局まで相談ください

特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所（担当：東末^{どうすえ}）

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1-6 コミスタこうべ北棟3階

TEL 078-230-8511 E-mail LET077232@nifty.ne.jp

URL <http://www.kobe-machiken.org/>

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 概要

(2013年6月1日現在)

団体名	特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所	
代表者	理事長 小林郁雄 (兵庫県立大学特任教授、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター上級研究員)	
所在地	〒651-0076 兵庫県神戸市中央区吾妻通 4-1-6 神戸市生涯学習支援センター北棟 3F	
TEL・FAX	TEL : 078 (230) 8511 FAX : 078 (230) 8512	
Mail・HP	E-mail : LET07723@nifty.ne.jp URL : http://www.kobe-machiken.org/	
設立経緯	1999年3月に神戸復興塾(被災者救済や被災地まちづくりに関わる様々な専門家約30名により、1996年4月に設立されたボランティアな団体)を母体に、神戸復興塾が培った人的資源とネットワークのコアとしての機能を共有しつつ、計画的、持続的に復興まちづくりに取り組み、地域に根ざした独立独歩のシンクタンクとして活動することを目的に、1999年7月に神戸まちづくり研究所を設立した。2000年3月に特定非営利活動法人の認証を受け、6月に市民活動総合支援拠点(神戸市)に入居し、さらなる発展の拠点とし、市民活動とまちづくりのための支援活動を展開している。	
設立年月	1999年7月(2000年3月に特定非営利活動法人として認証)	
目的	この法人は、地域でまちづくり活動を行う個人や団体に対する支援を行うとともに、まちづくりに関する調査・研究および政策提言を行い、地域住民の住みよいまちづくりに寄与することを目的とする。(定款第3条)	
これまでの中間支援実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクティブオフィス事業(2000年度～現在/市民活動団体へ活動拠点の提供と支援) ・修学旅行・研修受け入れ事業(2001年度～現在/受け入れ団体活性化のための支援) ・兵庫まちづくりプラットフォーム事業(2002年度～現在/県下のまちづくり活動支援) ・NPO等支援アドバイザー派遣事業(2003年度～現在/NPO等へのスキルアップ支援) ・小規模作業所等事業サポーター制度(2007～2012年度/小規模作業所等への支援) ・NPOや市民活動団体からの相談受け入れ業務(設立時～現在) 等々 	
正会員数	30名	
職員数	事務局専従職員2名	
2012年度事業内容	機 能	内 容
	調査・研究・研修・政策提言	研究者等研修受け入れ事業(東日本大震災復興支援関連5件含む)、ユニバーサル社会づくり推進地区事業プラン策定業務など
	市民活動及びまちづくりの支援事業	コレクティブオフィス事業、地域再生プラットフォーム形成事業、東日本被災地支援事業、NPO等支援アドバイザー派遣事業、小規模作業所等事業サポーター制度、NPO等の相談業務など
	まちづくり及び地域再生に必要な事業	修学旅行受け入れ事業、明舞団地活性化事業(まちづくりコーディネーター常駐業務)など
	その他の事業	まち研ニュースの発行、共催事業やネットワークに参加など
財政規模	総収入約1,981万円、内事業収入約1,036万円(2012年度決算)	
運営組織	理事会(年に4回程度)と事務局会議(随時)を開催し、企画等の決定・執行を行っている。おのおのの活動が忙しくなかなか一堂に会することが少ないので、メーリングリストを活用した情報の交流を活発に常時行っている。	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸復興塾を母体とした確固たる人的財源基盤のもと独立独歩のシンクタンクとしての機能を有している。 ・中間支援系NPOとしての活動支援と、まちづくり(震災の後のコミュニティの形成等)の活動支援を中心に活動を行っている。 ・常時、人数を必要とする活動を行っているわけではないので常勤職員は2人だが、必要時は多数ボランティアを集められるネットワークを持っている。 	